

Departure English Expression I, II

Part 3～5

英語で活動する楽しさを生徒に！



今川佳紀

Part 3 から Part 5 は、自分の意見や考えを伝える運用能力を高めることを目的とし、生徒が「易→難」という流れで、高度な運用能力を段階的に身につけることができるように、以下のような構成になっています。

Part 3 Expressing Opinions
Part 4 Presenting Opinions
Part 5 Exchanging Opinions

★思考のトレーニング

生徒の「わからない」には2つあるようです。1つは、「言いたことはあるけれども、どのように書いてよいかわからない」。これについては、Part 1 及び Part 2 を学習していくと書けるようになります。2つめは、「何を書いてよいかわからない」。自分の意見や考えが思い浮かばないことが原因の1つと考えられます。この2つめの「わからない」に対して、生徒をサポートするために、思考のプロセスをStep 化しました。このStep に従って考えていけば、自分の考えや意見をまとまった形で書くことができるようになっていきます。Part によって多少のちがいはありますが、全てのレッスンを通じて、『ブレインストーミング』→『関連付け』→各段落のトピック・センテンスを考えて骨子を作る『構成』→サポートイング・センテンスによる『肉付け』→『エッセイ（パラグラフ）・ライティング』→『推敲』→『練習』→『発表』といった流れを基本的な学習 Step としています。思考の順序をルーティン化

することにより、思考のプロセスに慣れることができます。

★生徒自身で確認できる

『推敲』や『練習』と『発表』の Step では、意識してほしい点について項目化していますので、生徒自身で確認しながら活動を進めることができます。さらに、Self-assessment を各 Part 末に載せていますので、生徒自身で Can-Do リストのように自己評価をすることができます。

★生徒に身近な話題を提供

各 Lesson の話題は、生徒が自分の意見や考えを想起しやすいように身近な話題を設定しています。また、ブレインストーミングの時に自分の考えや意見を考えるきっかけとなるようにヒントとなる質問をリストアップしています。さらに、生徒の思考が広がるように、グラフや表などのデータを掲載している Lesson もあります。

★例を見て学ぶ

各 Lesson では、ブレインストーミングや構成、肉付け、Speech、Show & Tell、Debate の立論等、モデルを提示しています。指示だけでは抽象的で理解しにくい内容でも、例を参考することで、具体的な活動内容がイメージできるようになっています。

★「活動用シート」

教科書にも生徒が書き込みできるスペースを設

けていますが、毎回、提出させてチェックしたい場合は、付属データの「活動用シート」をご利用いただけます。この「活動用シート」は先生方のご指導に合わせて加工することができます。

★先生方の準備や指導のご負担を軽減

表現活動のための準備や導入は時間がかかり大変です。思考 Step のルーティン化により、先生方のご指導の一貫性を保つことができます。このルーティンに慣れれば、生徒自身でどんどん先に進めていくことができます。また、『推敲』や『練習』、『発表』においてポイントを項目化しているので、生徒自身で取り組むことができます。学習の遅れがちな生徒に、より時間をかけて指導することも可能となります。

★徐々にインタラクティブな活動へ

英語で発表したり、意見交換したりすることが苦手な生徒でも、段階的にインタラクションに慣れられるよう配慮しています。Part 3～5 で順序立ててご指導していただくことで、生徒間のインタラクションが徐々に増え、精神的な負担をあまり感じずに学習していけるような構成としています。Part 3 では、自分の意見を論理的にまとめる、Part 4 では、自分の意見を伝える、Part 5 では、自分の意見を伝え、相手の意見を聞き、議論をする形式です。また、生徒の運用能力に合わせて、Part 4 から始めたり、Part 3 で終わるという選択的な使い方もできます。

★各 Part におけるレッスンの学習概要

『Part 3』 Expressing Opinions

- Lesson 1 論理的構成を意識して、1 パラグラフを書く。
- Lesson 2 賛成または反対の視点から考え、1 パラグラフを書く。
- Lesson 3 段落構成を意識して複数のパラグラフを書く。

『Part 4』 Presenting Opinions

- Lesson 1 Show & Tell：物などを見せながら、説明をする。
- Lesson 2 Speech：体験談などをまじえながら、自分の意見を発表する。
- Lesson 3 Presentation：資料などを提示しながら、説明や提案をする。

『Part 5』 Exchanging Opinions

- Lesson 1 Mini-Debate in Teams of Four：簡単な形式の Debate を少人数で練習する。
- Lesson 2 Debate：ある論題について、全国大会のフォーマット例で Debate をする。
- Lesson 3 Panel Discussion：ロールプレイング形式で Discussion をする。

Debate の方が Discussion より難易度が高いと感じるかもしれませんが、実際には Debate はルールに従ってやっていけば成立します。オープンな議論になる Discussion よりも、むしろ取り組みやすいと考え、上記の構成にしています。

★Critical Thinking & Quick Response の練習

Part 5 の「はじめに」では、Debate や Discussion に必要と考えられる Quick Response, Critical Thinking を身につけることができるように Practice を準備しています。また、練習問題を通じて、Quick Response, Critical Thinking の訓練、及び思考の訓練ができるようになっています。

★英語を使う楽しさを

英語を使って活動するためには準備が大変ですが、実際に英語で活動を行うと楽しく、達成感があるものです。次の学習への内的動機付けとなることでしょう。Part 3 から Part 5 を使用して、生徒に英語を使って活動する楽しさを体験してもらえると幸いです。

(いながわ よしき 立命館宇治高等学校教諭)